

エコアクション21

# 環境経営レポート

2024年度版  
(2024年4月～2025年3月)

作成日 2025年8月26日

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合

# ご挨拶

当組合は1976年(昭和51年)の創業以来、産業廃棄物の収集・運搬を主として、皆様のご支援をいただきながら成長してまいりました。

この廃棄物の収集・運搬業は「きつい、汚い、危険」と俗に言う「3K」と言われ人々に敬遠されてきた業種ですが、やりがいと誇りを持ち、49年携わって参りました。

人の生活の中でゴミという物はなくなりません。なくならないだけに、可能な限り再資源化し、適切な処理をする事が必要と考えます。

現在地球規模の環境破壊が大きな社会問題になっており、中でも私達の生活から出る産業廃棄物の処理については、廃棄物の多様化・複雑化で適切な処理ができる施設が不足している事は深刻な問題です。

このような時代の中、当組合は2008年3月に「エコアクション21」を認証取得し、廃棄物の適切なりサイクルを目指し、環境に配慮した企業活動を行っております。

これからも関係企業様に愛される組合であり続けるように1社員一丸となって貢献が出来る様努力精進いたします。

今後とも何卒、格別のご支援・ご指導を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合

代表理事 石川 成央

# 目 次

ご挨拶

環境経営方針	1
1.組織の概要	2
2.EA21の対象範囲	6
3.環境経営目標	7
4.環境経営計画	8
5.環境経営計画に基づき実施した取組内容	9
(1)EA21実施体制	9
(2)2024年度に実施した環境への取組	10
6.環境経営目標の実績	12
□過去10年間の収集運搬量と二酸化炭素排出量の推移	13
□当組合の二酸化炭素排出構造	14
7.環境経営計画の取組結果とその評価	15
8.次年度(2025年度)の計画	16
9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	17
10.代表者による全体評価と見直しの結果	18

# 環境経営方針

## 〈環境理念〉

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合は、代表理事を先頭に全役員・全社員一丸となって、地球温暖化を始めとする深刻な地域環境への問題意識を高め、廃棄ではなくリサイクルへ向けて企業努力し、社会貢献する事を最大の目標としています。

## 〈行動指針〉

当組合は省資源・省エネルギーに努め、当組合に与えられた使命を自覚し、次世代へ残せる様に地球環境の維持と保全へ向け、環境経営システムの継続的改善に努めます。

- 1 地球温暖化防止の為、省電力・自動車燃料の省エネルギーを推進する。
- 2 廃棄物の排出量の削減とリサイクルを行う。
- 3 産業廃棄物の収集運搬における環境配慮に努める。
- 4 排出事業者へ分別・リサイクルのご理解・ご協力を依頼する。
- 5 水使用量の削減。
- 6 グリーン購入に取り組む。
- 7 法令遵守し、地域社会の方々と共に環境保全を推進し、社会貢献に努める。
- 8 この環境経営方針を全社員に周知徹底させるべく、社員教育を実施する。

作成日 2007年6月13日

改訂日 2021年7月23日

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合

代表理事 石川 成央



# 1.組織の概要

1. 事業者名 福岡県産業廃棄物処理事業協同組合
2. 代表者名 代表理事 石川 成央
3. 創立 1976年12月18日
4. 事業所の所在地 **【福岡本部】**  
福岡市博多区諸岡2丁目9-13  
**【福岡支部】**  
糟屋郡宇美町障子岳南3丁目1-3  
**【北九州支部】**  
北九州市八幡東区豊町1783-1  
**【久留米支部】**  
小郡市三沢3003-1
5. 資本金 900万円
6. 環境管理責任者 責任者 甲木 智美  
及び担当者 担当者 甲木 智美  
**【連絡先】**  
TEL (093)651-2357  
FAX (093)651-2357  
E-Mail fskmba@gmail.com
7. 事業内容 産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬,  
産業廃棄物中間処分  
URL <http://www.fukuoka-sanpai.jp>

## 8. 事業の規模(2024年4月～2025年3月)

	組合全体	福岡本部	福岡支部	北九州支部	久留米支部
従業員数	31人	6人	9人	8人	8人
売上高	50,000万円	-	-	-	-
事業所床面積	155.4㎡	72.87㎡	260.3㎡	32㎡	26㎡
収集運搬量	10,844	4,481	3,258	1,218	1,887
運搬距離	676,886	108,727	210,833	146,043	211,283

9. 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業	
許可県・政令市	福岡県
許可番号	04000006899
許可年月日	2019年5月29日
許可の有効期限	2029年5月28日

産業廃棄物収集運搬業	
許可県・政令市	佐賀県
許可番号	04103006899
許可年月日	2021年1月11日
許可の有効期限	2026年1月10日

特別産業廃棄物収集運搬業	
許可県・政令市	福岡県
許可番号	04050006899
許可年月日	2018年11月9日
許可の有効期限	2028年11月8日

特別産業廃棄物収集運搬業	
許可県・政令市	佐賀県
許可番号	04153006899
許可年月日	2018年8月25日
許可の有効期限	2028年8月24日

産業廃棄物中間処分業	
許可県・政令市	福岡県
許可番号	04020006899
許可年月日	2024年12月10日
許可の有効期限	2029年12月9日

一般廃棄物処理業許可証	
許可市	佐賀市
許可番号	1011
許可年月日	2022年4月1日
許可の有効期間	2026年3月31日

1. 事業範囲:

中間処理(圧縮分離:廃油、廃プラスチック類、金属くず(廃オイルエレメントに限る))

2. 事業の用の供する施設

圧縮分離施設:設置場所 福岡県糟屋郡宇美町障子岳南3

設置年月日 2024年7月17日

処理能力 2.8t/ 日(8時間)

圧縮分離施設:設置場所 福岡県小郡市三沢永田町3003番1

設置年月日 2025年1月17日

処理能力 2.8t/ 日(8時間)

許可品目	福岡県		佐賀県		佐賀市
	産業廃棄物	特管	産業廃棄物	特管	一般廃棄物
一般廃棄物					○
燃え殻			○		
汚泥	○		○		
廃油	○	○	○	○	
廃酸	○	○		○	
紙くず	○		○		
木くず	○		○		
廃プラスチック	○		○		
金属くず	○		○		
ガラスくず	○		○		
廃アルカリ	○	○	○	○	
繊維くず	○				
コンクリートくず			○		
動物性残渣	○				
植物性残渣	○				
ゴムくず	○				
陶磁器くず			○		

### 10. 許認可別車両一覧

運搬車の種類	福岡本部	福岡支部	北九州支部	久留米支部	合計
タンク車	4台	1台	1台	1台	7台
塵芥車	0台	6台	4台	5台	15台
トラック	0台	1台	1台	1台	3台
ダンプ車	1台	3台	1台	3台	8台
汚泥吸引車	1台	0台	0台	0台	1台
合計	6台	11台	7台	10台	34台

### 11. 受託した廃棄物収集量の実績

処理量(t)

受託方法	廃棄物等の種類	2020年度	2023年度	2024年度
収集運搬	一般廃棄物	87	55	56
	汚泥	69	67	57
	廃油	4,351	4,407	4,461
	汚泥(パンク修理剤)	0	1	1
	廃プラスチック	2,152	1,865	2,378
	廃タイヤ	1,861	1,954	1,855
	金属屑	1,814	1,626	1,860
	廃アルカリ(LLC)	190	170	159
	廃バッテリー	195	284	414
	蛍光灯	2	1	2
	ガラス屑	22	16	32
	木屑	0	0	64
	廃シンナー及びガソリン	4	8	20
収集運搬量合計	—	10,747	10,453	11,359

### 12. 受託した産業廃棄物処分量の実績

処理量(t)

受託方法	廃棄物の種類	2020年度	2023年度	2024年度
中間処分	廃オイルエレメント	0	0	39.8

### 13. 処理料金

料金につきましては、種類・量にて異なりますので、ご相談ください。

13.各支部の廃棄物別収集運搬量

処理量(t)

廃棄物の種類	福岡本部	福岡支部	北九州支部	久留米支部
一般廃棄物	0	0	0	56
汚泥	57	0	0	0
廃油	4,461	0	0	0
汚泥(パンク修理剤)	0	1	0	0
廃プラスチック	0	1,506	98	774
廃タイヤ	0	868	454	533
金属屑	0	708	559	593
廃アルカリ(LLC)	0	87	29	43
廃バッテリー	0	208	121	85
蛍光灯	0	1	0	1
ガラス屑	0	31	0	1
廃シンナー及び廃ガソリン	0	12	3	5
木屑	0	63	1	0
合計	4,518	3,485	1,265	2,091

産業廃棄物処分フロー図

産業廃棄物の種類	中間処理方法	中間処理後の工程
汚泥	混合	セメント原料
廃油	油水分離	再生重油
パンク修理剤	焼却	埋立
廃プラスチック	選別	再生原料
廃タイヤ	切断	再生原料
金属屑	破碎	再生原料
	圧縮	
	圧縮・切断	
廃アルカリ(LLC)	焼却	埋立
	中和	セメント原料
廃バッテリー	中和	リサイクル
蛍光灯	選別	再生原料
ガラス屑	選別	再生原料
廃シンナー及び廃ガソリン	焼却	埋立
木屑	選別	再生原料

## 2. EA21の対象範囲

- 当組合は、全組織、全活動を対象に環境省の環境マネジメントシステム(エコアクション21)を導入して事業活動を行っています。
- エコアクション21の認証は2008年3月11日に取得し、これまで17年間環境への取組を継続して実施してきました。なお、2024年から福岡県の許可を取得し産業廃棄物の中間処理(廃オイルエレメントの廃油抜き処理)を実施しています。
- これからも、引き続き省資源・省エネルギーに努め、次世代に残せる地球環境の維持と保全に向けて全組合員を挙げて環境経営に取り組んで参ります。

### (1) 認証登録事業所

福岡県産業廃棄物処理事業協同組合

### (2) 対象事業所

福岡本部、福岡支部、北九州支部、久留米支部

### (3) 対象事業活動

産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処分量



### 3. 環境経営目標

・当組合の2024年度の環境経営目標は、以下の6項目11目標です。

・目標値は2020年度の実績値から毎年1%ずつ2025年まで削減していく事としています。

NO	環境経営目標項目	サイト区分	単位	基準年度実績	単年度目標	中長期目標
				2020年度	2024年度	2025年度
				2020年4月～2021年3月	2024年4月～2025年3月	2025年4月～2026年3月
1	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO <sub>2</sub>	336,259	322,808	319,446
		全社	kg-CO <sub>2</sub> /t (収集運搬量)	31.3(注)	30.0	29.7
	①軽油使用量の削減	全社	ℓ	126,000	120,960	119,700
	②電気使用量の削減	全社	kWh	10,976	10,537	10,427
2	廃棄物排出量の削減 (可燃ゴミ)	福岡本部 福岡支部 北九州支部	kg	119.5	115.0	114.7
3	水使用量の削減	福岡本部 福岡支部 北九州支部	m <sup>3</sup>	161	155	153
4	環境保全の実施 (社会貢献活動)	全社	—	各支部毎で地域の清掃活動をする。		
5	グリーン商品購入	全社	—	物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品を選ぶ。		
6	本業に関わる目標	全社	—	環境に優しい車両導入を推進する。		

備考 ・電力の二酸化炭素排出係数は0.479kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力(株)2020年度調整後排出係数)を用いた。

・軽油の二酸化炭素排出係数は2.624kg-CO<sub>2</sub>/ℓを用いた。(2009年度)(2017年度版ガイドラインの引用)

・廃棄物排出量の基準年度は2021年度とします

・化学物質については取り扱いがないので目標から除外した。

・全社とは、福岡本部、福岡支部、北九州支部、久留米支部を含む全体を示す。

・全社の二酸化炭素排出量には全エネルギー(都市ガス、液化石油ガス、ガソリン)が入ってます。

(注) 収集運搬量 10,747tで二酸化炭素排出量を除して算出。

## 4. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するための具体的な活動計画は、以下の通りです。

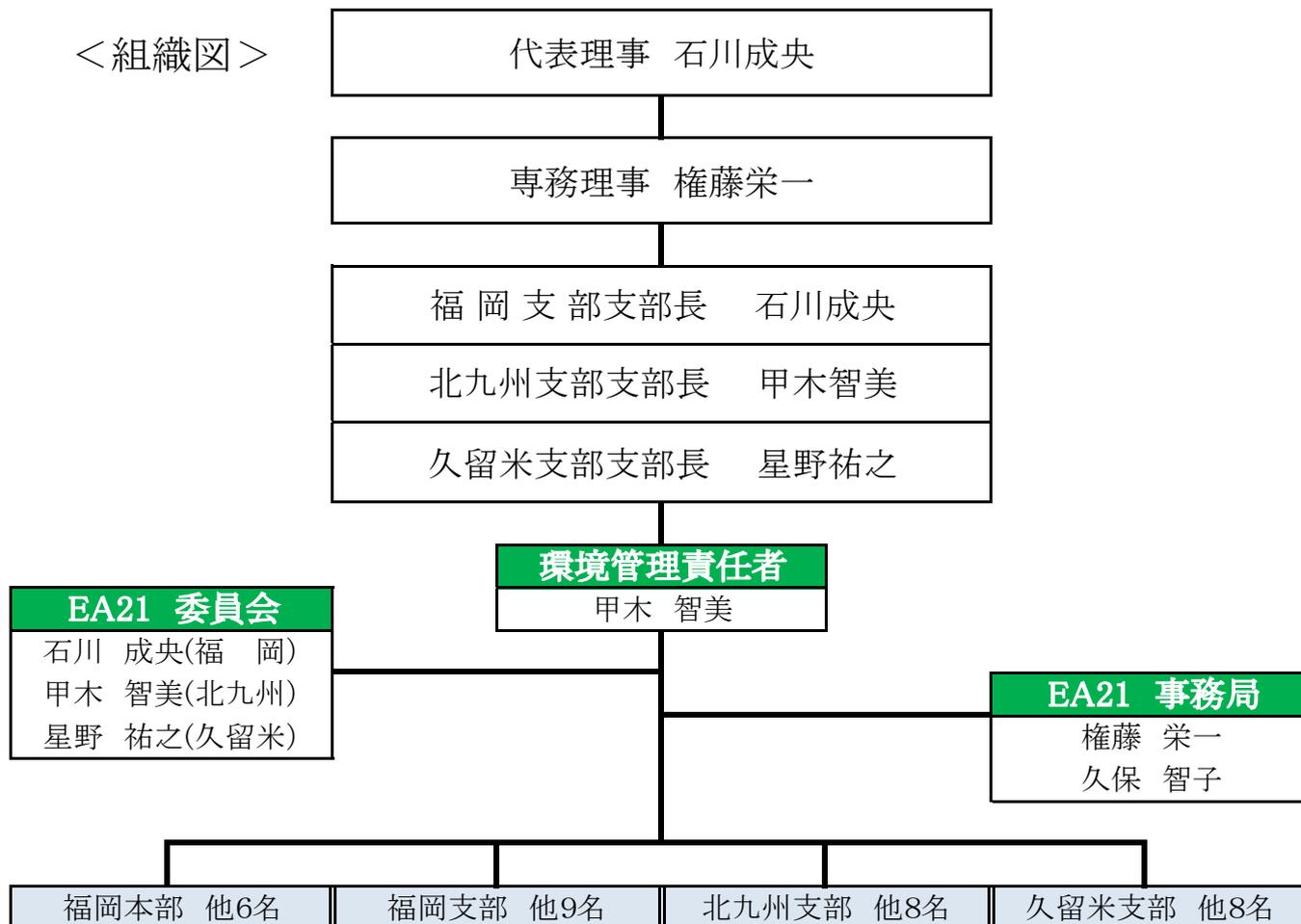
NO	環境目標項目	活動項目	責任者	スケジュール	
1	二酸化炭素排出量の削減	①軽油使用量の削減	1. アイドリング・ストップで省エネ運転 2. 急発進・急ブレーキをしない 3. 車内清掃 4. 定期点検の励行	福岡本部：荒木 拓也 福岡支部：一関 大輔 北九州支部：仲野 衛 久留米支部：立石 光昭	通年
		②電気使用量の削減	1. 空調の温度管理(夏27度 冬21度) 2. クールビズ、ウォームビズ 3. 待機電力カット 4. 電気製品の見直し	福岡本部：久保 智子 福岡支部：石川 成央 北九州支部：甲木 智美 久留米支部：星野 祐之	夏季：5月～10月 冬季：11月～3月 通年
2	廃棄物排出量の削減 (可燃ゴミ)	1. できる限り資源回収をし、可燃ゴミを減らす	福岡本部：久保 智子 福岡支部：石川 成央 北九州支部：甲木 智美	通年	
3	水使用量の削減	1. できる限り水使用を控える	福岡本部：久保 智子 福岡支部：一関 大輔 北九州支部：甲木 智美	通年	
4	環境保全の実施 (社会貢献活動)	1. 各支部毎が地域の清掃活動をする	福岡本部：荒木 拓也 福岡支部：一関 大輔 北九州支部：甲木 智美 久留米支部：星野 祐之	福岡本部：隔週土曜日 福岡支部：隔週土曜日 北九州支部：毎週土曜日 久留米支部：隔週土曜日	
5	グリーン商品購入	1. 物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品を選ぶ	福岡本部：権藤 栄一 福岡支部：石川 成央 北九州支部：甲木 智美 久留米支部：星野 祐之	通年	
6	本業に関わる目標	1. 支部毎に基準を設け、環境に優しい車両の導入を検討する	福岡本部：久保 智子 福岡支部：石川 成央 北九州支部：甲木 智美 久留米支部：星野 祐之	通年	

## 5.環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2024年度に当組合が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・実施に当たっては、組合内にエコアクション21を推進する次のような実施体制を構築して、全組合員が一丸となって取り組みました。

### (1) エコアクション21実施体制

<組織図>



### 役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
石川 成央	代表理事	全体統括、環境経営方針の設定、環境への取り組みを実施する経営における課題とチャンスを確認にする為の資源の準備、経営における課題とチャンスを確認にする、全体の評価と見直し
甲木 智美	環境管理責任者	環境経営システムの構築、運用、報告
石川 成央 甲木 智美 星野 祐之	EA21委員会	各支部毎の軽油、電気、水使用量の確認・評価、放棄遵守のチェック、緊急時訓練の実施、コミュニケーションシートの確認、問題の是正処置の検討
権藤 栄一 久保 智子	EA21事務局	EA21文書及び記録等の作成・維持・管理 EA21委員会の開催・進行
全員	各支部	環境への取り組みを実施する 問題点や取り組み上の課題があれば報告する



### 3. 水使用量の削減



- 水を使う場所には節水シールを貼り、日頃から節水に努めています
- 本部、3支部では水使用量を記録して、目標管理しています。

削減目標項目	削減率								
水使用量の削減	2023年度実績	2022年度実績	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績	2018年度実績	2017年度実績	2016年度実績	2015年度実績
本部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
福岡支部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
北九州支部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
山口支部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
削減目標項目	削減率								
水使用量の削減	2023年度実績	2022年度実績	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績	2018年度実績	2017年度実績	2016年度実績	2015年度実績
本部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
福岡支部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
北九州支部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
山口支部	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

水使用量の記録・管理(本部・3支部)



節水啓発シール(久留米支部)

### 4. 環境保全の実施(社会貢献活動)



- 毎週又は隔週土曜日に本部、支部単位で事務所周辺の清掃活動を行っている



事務所周辺の清掃活動(本部)



事務所周辺の清掃活動(北九州支部)

### 5. グリーン商品の購入



- 事業活動で購入する物品はできる限りグリーン商品を選んでいきます



グリーン商品の購入(本部)

### 6. 本業目標



- 支部毎に基準を設け、燃費の良い新しい車両に計画的に入替を行っています



2024年度新型車両の導入(福岡支部)

## 6. 環境経営目標の実績

- ・設定した環境目標6項目9目標のうち3項目6目標は目標を達成出来ませんでした。
- ・当組合の二酸化炭素排出構造は、軽油が98.3%、電力1.5%で軽油が大半を占めています。
- ・軽油は収集運搬車両の燃料であり、総量及び収集運搬量当たりのCO<sub>2</sub>排出量では、わずかに目標を上回りました。

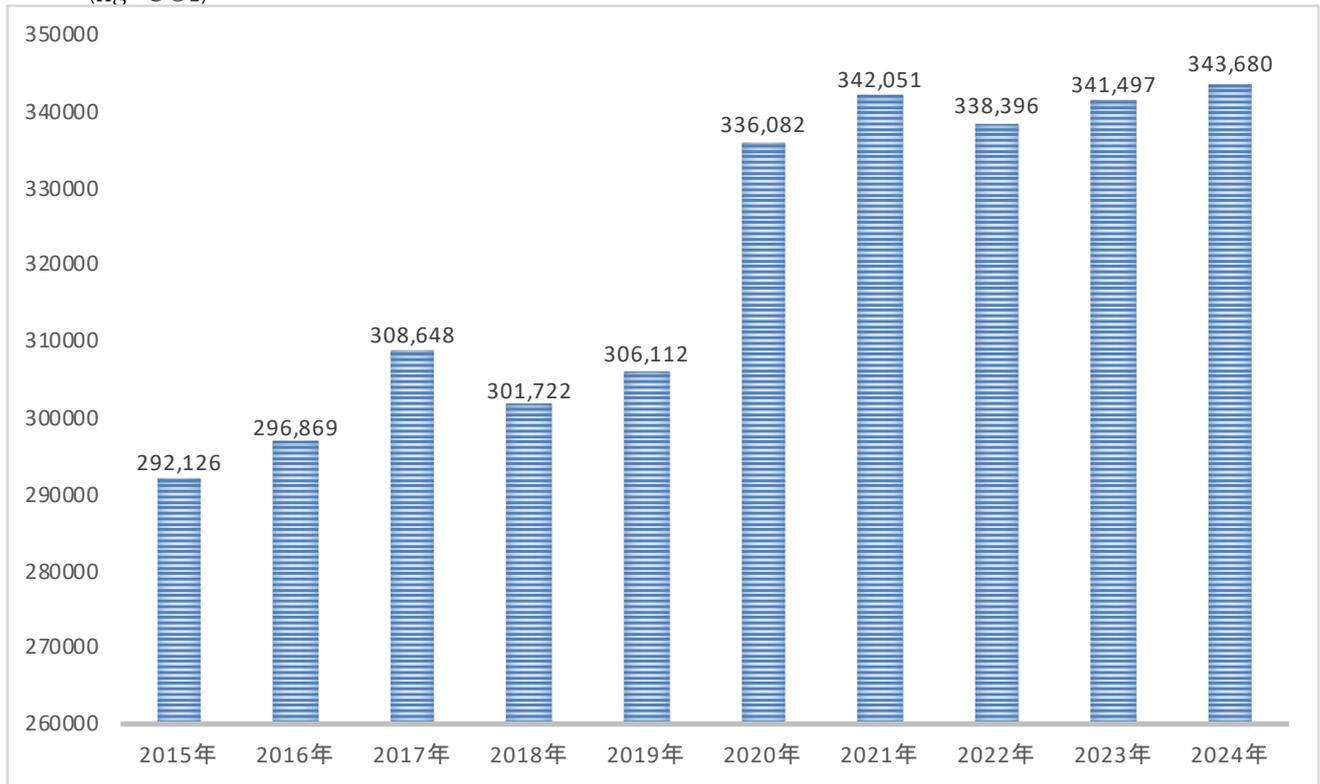
NO	目標	単位	2024年度		達成率	判定	評価及び次年度の取り組み	
			目標	実績				
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	322,808	343,683	93.9%	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素排出量と軽油使用量は共に目標未達成。</li> <li>・遠方への中間処分場の変更等により軽油使用量が増えた。</li> <li>・今後もルートの見直し等検討し目標達成出来る様取り組む。</li> </ul>	
	①軽油使用量の削減	ℓ	120,960	128,349	94.2%	△		
	②電気使用量の削減	kWh	10,537	13,976	75.4%	×		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量は目標未達成。</li> <li>・各支部とも、より一層節電に取り組む。</li> </ul>
	③収集運搬量あたりの二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /t	30.0	32.0	93.8%	△		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率良く収集運搬する事を、心がける。</li> </ul>
2	廃棄物排出量の削減(可燃ゴミ)	kg	115.0	197.1	58.3%	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物排出量の削減は目標未達成。</li> <li>・今後も廃棄物削減に取り組む。</li> </ul>	
3	水使用量の削減	m <sup>3</sup>	155	224.0	69.2%	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水使用量は目標未達成。</li> <li>・各支部は引き続き節水を心がける。</li> </ul>	
4	環境保全の実施(社会貢献活動)	—	福岡本部 月に1回 福岡支部 月に1回 北九州支部 月に1回 久留米支部 月に1回			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全の実施は目標達成。</li> <li>・これからも引き続き積極的に地域への社会貢献を行う。</li> </ul>	
5	グリーン商品購入	—	商品購入の際、グリーン商品を意識し購入した。			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン商品購入は目標達成。</li> <li>・購入したトラックのタイヤは購入法適合商品。</li> </ul>	
6	本業に関わる目標	—	支部毎に基準を設け、環境に優しい車両導入を検討した。			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も環境に優しい車両購入を検討する。</li> </ul>	

達成状況の判定 ○:達成率>120% ○:達成率≥100% △:100>達成率≥80 ×:達成率<80 —:判定不可 \*達成率=(目標÷実績)×100

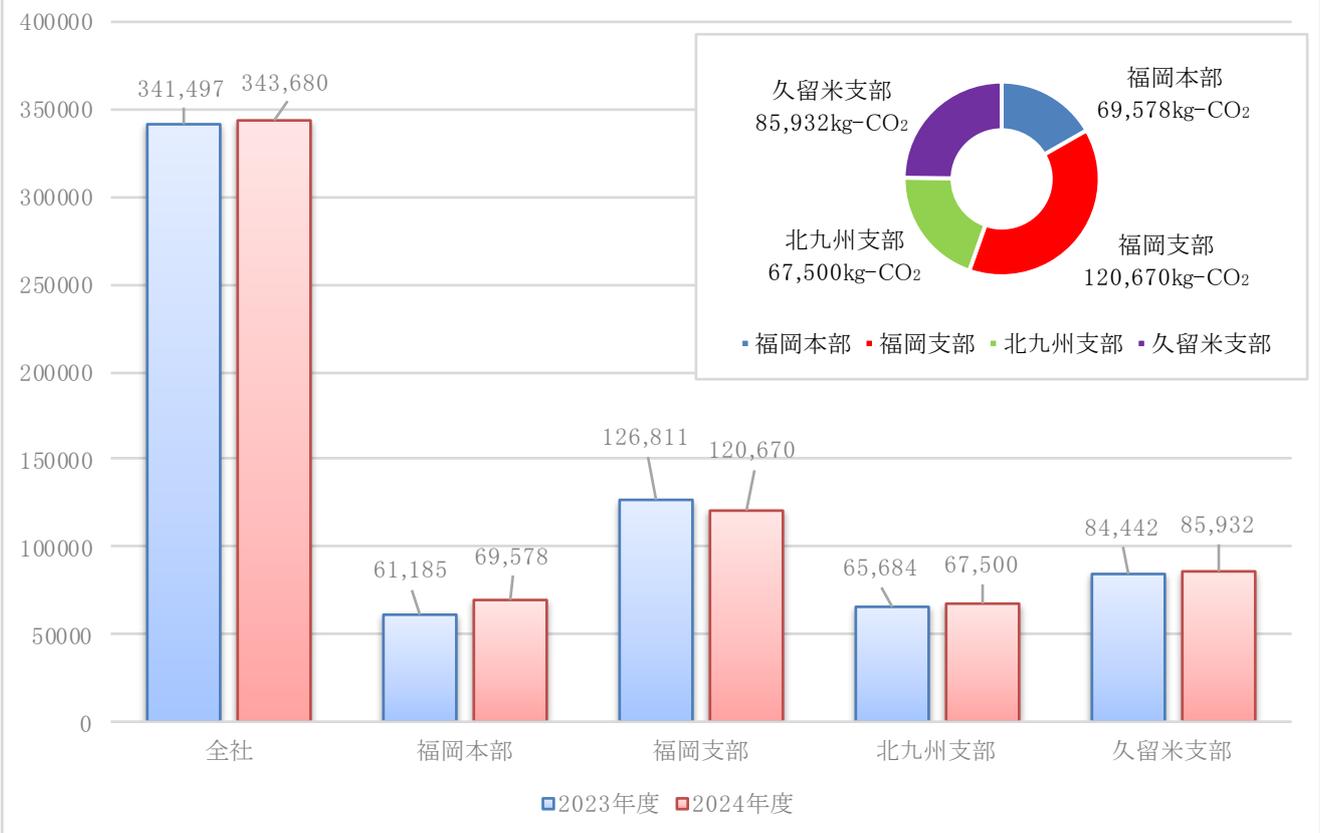
・電力は0.479kg-CO<sub>2</sub>/kWh、軽油は2.624kg-CO<sub>2</sub>/ℓを用いた。

# 過去10年間の二酸化炭素排出量の推移

〈kg-CO<sub>2</sub>〉

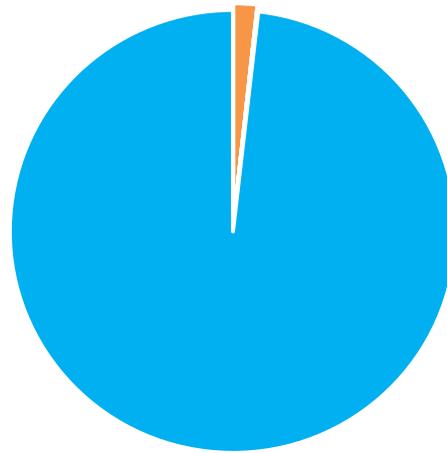


## 2024年度 当組合が排出する二酸化炭素排出量の内訳



## 当組合の二酸化炭素排出構造

2024年度CO<sub>2</sub>総排出量343,683kg-CO<sub>2</sub>の割合



■ 電気 ■ ガソリン ■ 都市ガス ■ LPGガス ■ 軽油

電気使用量から排出された二酸化炭素排出量		割合
福岡本部	1,518kg-CO <sub>2</sub>	0.4%
福岡支部	2,152kg-CO <sub>2</sub>	0.6%
北九州支部	1,410kg-CO <sub>2</sub>	0.4%
久留米支部	1,615kg-CO <sub>2</sub>	0.5%
合計	6,695kg-CO <sub>2</sub>	0.9%
ガソリン使用量から排出された二酸化炭素排出量		割合
福岡支部	547kg-CO <sub>2</sub>	0.2%
都市ガス使用量から排出された二酸化炭素排出量		割合
福岡本部	153kg-CO <sub>2</sub>	0.0%
LPGガス使用量から排出された二酸化炭素排出量		割合
福岡支部	13kg-CO <sub>2</sub>	0.0%
軽油使用量から排出された二酸化炭素排出量		割合
福岡本部	67,360kg-CO <sub>2</sub>	20.0%
福岡支部	118,508kg-CO <sub>2</sub>	35.0%
北九州支部	66,090kg-CO <sub>2</sub>	20.0%
久留米支部	84,317kg-CO <sub>2</sub>	25.0%
合計	336,275kg-CO <sub>2</sub>	98.0%
<b>総合計</b>	<b>343,683kg-CO<sub>2</sub></b>	<b>100.0%</b>

## 7. 環境経営計画の取組結果とその評価

### 1. 二酸化炭素排出量の削減

#### ① 軽油使用量の削減

・チェック表を作成し、毎日各ドライバーがチェックして意識を高めた。

取組み内容	実施状況	評価
(1)アイドリングストップによる省エネ運転	△	更なる周知徹底して取り組む
(2)急発進・急ブレーキをしない	○	継続して取り組む
(3)車内清掃(車内に余計な荷物を乗せない)	○	更なる周知徹底して取り組む
(4)定期点検の励行	○	継続して取り組む

#### ② 電気使用量の削減

・省電力についての取組みは各支部共に実施できた。

取組み内容	実施状況	評価
(1)空調の温度管理(夏27度 冬21度)	△	更なる周知徹底して取り組む
(2)クールビズ、ウォームビズ	○	継続して取り組む
(3)待機電力カット	○	更なる周知徹底して取り組む
(4)電気製品の見直し	△	更なる周知徹底して取り組む

### 2. 廃棄物排出量の削減(可燃ゴミ)

取組み内容	実施状況	評価
(1)できる限り資源回収をし、可燃ゴミを減らす	×	更なる周知徹底して取り組む

### 3. 水使用量の削減

・水使用は手洗い・食器洗浄・トイレ・洗車等に限られる。

・水道局からシールを取り寄せ各水道蛇口に貼付し意識付けをしている。

取組み内容	実施状況	評価
(1)できる限り水使用を控える	△	更なる周知徹底して取り組む

### 4. 環境保全の実施(社会貢献活動)

取組み内容	実施状況	評価
(1)支部毎が地域の清掃活動をする	○	継続して取り組む

### 5. グリーン商品購入

取組み内容	実施状況	評価
(1)物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品を選ぶ	○	継続して取り組む

### 6. 本業に関わる目標

取組み内容	実施状況	評価
(1)支部毎に基準を設け、環境に優しい車両導入を検討する	○	継続して取り組む

備考 実施状況区分 ○:よく実行されてる(定着) ○:実行されてる △:おおむね実行されている ×:実行されていない ー:判定不可

## 8. 次年度(2025年度)の計画

### (1) 環境経営目標

- ・次年度(2025年度)の環境経営目標は、当初目標を適用していましたが福岡本部が移転をした為2026年度以降は実態を見ながら見直しの必要性を検討します。
- ・水使用量については、久留米支部での地下水計測が始まっているので、今年度から節水をこころかけ目標設定していきます。

NO	環境経営目標項目	サイト区分	単位	基準年度	単年度目標	中長期目標
				2020年度実績	2025年度	2026年度
				2020年4月～2021年3月	2023年4月～2026年3月	2026年4月～2027年3月
					△5%	△6%
1	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO <sub>2</sub>	336,259	319,446	316,083
		全社	kg-CO <sub>2</sub> /t	31.3(注1)	29.7	29.4
	①軽油使用量の削減	全社	ℓ	126,000	119,700	118,440
	②電気使用量の削減	全社	kWh	10,976	10,427	10,317
2	廃棄物排出量の削減 (可燃ゴミ)	福岡本部 福岡支部 北九州支部	kg	119.5	114.7	112.3
3	水使用量の削減	全社(注1)	m <sup>3</sup>	161.0	153	154.1
4	環境保全の実施 (社会貢献活動)	全社	—	各支部毎で地域の清掃活動をする。		
5	グリーン商品購入	全社	—	物品を購入する場合にはできる限りグリーン商品を選ぶ。		
6	本業に関わる目標	全社	—	環境に優しい車両導入を推進する。		

備考 ・電力の二酸化炭素排出係数は0.479kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九州電力(株)2020年度調整後排出係数)を用いた。

・軽油の二酸化炭素排出係数は2.624kg-CO<sub>2</sub>/ℓを用いた。(2017年度版ガイドラインの引用)

・廃棄物排出量の基準年度は2021年度とします

(注1) 収集運搬10,747tで二酸化炭素排出量を除して算出。

・化学物質については取り扱いがないので目標から除外した。

・全社とは、福岡本部、福岡支部、北九州支部、久留米支部を含む全体を示す。

・合計は全部(都市ガス、液化石油ガス、ガソリン)を含めて算出している。

### (2) 環境経営計画

- ・次年度(2025年度)の環境経営計画は本年度を継続する事としますが、目標未達成となった二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量については取組みを強化し目標達成を目指します。

## 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・当組合に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・関係当局よりの違反等の指摘も過去3年間ありません。
- ・利害関係者からの訴訟もありませんでした。
- ・今後も環境関連法規や規則を遵守いたします。

遵守判定区分 ○:遵守 ×:不遵守 ー:該当なし

法規名	適用事項	遵守内容	遵守判定
産業廃棄物処理法	法14条第1項	区域を担当する県知事の許可が必要。期間は5年。	現在、許可地域で期限切れは無し。
	法14条第2項		
	施行令6条の9,13		
	施行規則9条の2		
	法14条の3の3	収集運搬を他人に委託、名義を貸して業を行わせてはならない。	収集運搬は全て、当組合で行っている。
	法14条の4第14項		
	法14条第17項	産廃の種類毎に、必要な事項(日付、受け入れ先、運搬先毎の運搬量)を記載した帳簿を作成し5年間保存する。	パソコンに全て管理、記録している。
	法7条第15項		
	規則2条の5		
	法12条の3第2項	管理票に運搬受託者の氏名、年月日、運搬量を記載する。	管理票は全て氏名、日付、運搬量の記載を確認・保管している。
	法12条の3第3項		
	法令14条第15項		
	規則8条21～30		
		法12の5第1項	(使用事業者)へ引き渡した日から3日以内に管理情報を情報処理センターに報告。
フロン排出抑制法	法律64号第3章	機器の管理責任。	業務用エアコンの簡易点検を本部、支部で実施している。
労働安全衛生法	規則612条2	熱中症対策の義務化。	熱中症対策に努めている。

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・2024年度の環境への取組状況に対して、代表者による全体評価と見直し結果は以下の通りです。

### (1) 取組状況の全体評価

- ・環境経営システムは毎月の車両燃費の提出により経営にも活かされ一定の機能は保たれていると考えられます。
- ・環境への取組は概ね良好でしたが、目標達成状況は6項目9目標のうち二酸化炭素排出量(軽油、電気使用量)、廃棄物排出量、水使用量の3つの削減目標が未達成となりました。
- ・このうち、当組合において重要な軽油使用量の削減目標については、中間処分場の変更や困難な廃棄物が増え、遠方への運搬が増えたため、ルートの見直し等検討しましたが目標を達成できませんでした。
- ・ただし、目標達成率は94%で、今後の取組如何で十分に目標を達成できるレベルにあり、今後も引き続きエコ運転に取り組めます。

### (2) 計画の見直し結果

- ・環境経営方針は変更無しとします。
- ・環境経営目標で2026年からは見直しの必要性を検討します。
- ・環境経営計画は個々の取組みの実施状況と目標達成状況の関係を見ながら現在の私達に見合った計画にしたいと思います。
- ・当組合もエコアクション21に取組み18年目を迎え様々な課題が見えてきました。目標数値の大幅削減は難しくなってきましたが、今後も実態に沿った目標設定を全組合員で取り組んでいきます。
- ・実施体制は変更なしとします